

令和8年度

湖南省行政改革外部評価委員会 議事録

第1回会議

(令和8年5月 21 日開催)

湖南省総務部財政課

出席者

外部評価委員	委員	新川 達郎	
	委員	田中 正志	
	委員	原田 徹	Web 参加
	委員	壬生 裕子	Web 参加
	委員	小谷 真理	Web 参加
事務局	総務部長	坂田 晃浩	
	総務部次長	梶山 政代	
	総務部財政課 課長	西岡 隆宏	
	総務部財政課 主幹	松下 昌幸	
	総務部財政課 主査	石本 絢一	

ほか傍聴者 0 名

議事録

	開会 午前10時
総務部長	(あいさつ)
事務局	会議成立の報告【出席委員数/委員数:5/5】 (事務局紹介)
委員長	(あいさつ) ご参集いただきありがとうございます。このところ諸物価の高騰や国際情勢の変化等々もありまして日々の暮らしも大変ですが、同時に行財政運営の観点からもさまざまな環境条件の変化に応じていかないといけないところ。今の人件費や物件費の高騰の度合いを見ていると一筋縄ではいかない対応というのを考えていかなければこれからの健全な行政運営に繋がらないと考えております。一方で国では補正予算を含めまして緊急の経済対策・物価対策というのを考えておられるということでございます。これらは財政の運営に大きく影響していきますし、将来を見越して現在の運営を着実に進めていけるか、それぞれの自治体と同様に湖南省の財政運

営の力が試されているというところもあろうかと思えます。本日はこれまでの行政改革の進捗について報告をいただきながらご議論いただき、新たな計画も策定されましたので今後の見通し等につきましてもご意見をいただける貴重な機会であると思えます。ぜひ皆様方とこの委員会で本市行財政改革についての活発な意見の交換ができればと考えています。よろしくお願いいたします。

事務局

会議の公開および会議内容等の公表について
(意見なし)

議題

(1) 第四次湖南省行政改革大綱実施計画の取組結果について

事務局

(説明)

副委員長

27 ページふるさと納税の取組について経費内訳のうち、委託料の令和7年度が前年度に比べて特に多くなっています。

事務局

返礼品の分も含んでいる費用となっています。

副委員長

返礼品代や業者への手数料も含まれており、コストもかかると思いますが、湖南市民の方が別の市町村に寄付されて減った分の補填も含めてトータルどれくらい残るものなのでしょうか。

事務局

令和7年度は今のタイミングで数字が出るかわからないですが、令和3年度、4年度(ふるさと納税2億程度)ではちょうどとんとんくらいでした。令和7年度は2億に達していないのでマイナスになっている可能性もあります。

副委員長

出て行った税については全部補填されるわけではないのか。

事務局

その通り全額ではないです。出ていく分は難しいですが抑えながら、そしてできるだけ多く寄付・応援してもらうよう勧めていきたいと思っています。より魅力的な商品を揃えていくこと、できるだけ手数料を抑えつつ寄付してもらえるように企業さんも中間業者さんにも協力してもらいながらになります

が日本全国で競争の形になっているので厳しい面もあります。

副委員長

値下げ競争にならないのか

事務局

難しいです。サイトに載せるのに業者さんがいて、その業者に寄付額の何%と決まった中での契約になる。発送する業者にテコ入れをして、中間業者のマージンを市内で得るといったことを検討していくとも考えています。

委員

LINE の登録者数等について回答ありがとうございます。登録者数が伸びていることはいいことだと思いますが、湖南省市の人口と照らして登録者数をどこまで伸ばしていきたいか。そのためにどんなことをしていくか。教えていただきたい。また、この項目を考えたときに LINE 以外の手法はどうなっているか気になりましたので LINE 以外のこと、メールについても記入がありますが様々な情報手段がある中で工夫をしていることがありましたら教えていただきたいと思います。

事務局

LINE の目標値ここまでというのは特に設定はしていません。メールは登録者数については LINE に比べて圧倒的に多く、メールは1万5千人います。他市はクーポンやスタンプに活用しているところもありますが、湖南省市ではプッシュ型の配信のみしか現在運用していない状況です。市内において、LINE 活用に向けて担当課に呼びかけを行って、これから取組を進めていく状況です。市民に対してまだ 10%にも満たない登録者数なのでこの先は登録者数を増やししながらコンテンツも含めて充実させていくつもりです。アプリは 1 万人いる。LINE と並行して実施している形です、アプリも色々な機能を入れると経費がかかってしまうところで、今の時点ではいろんな媒体を使っていますが、1つこれと決めていないのが現状です。LINE の活用に関しては他市で実施しているようなクーポン、健康診断の予約などにも使えるように機能を取り入れながら進めていきたいと考えています。

委員

LINE の情報発信について年齢層も幅広く使っているし、年齢の高い方も身近な方で気軽に利用されていますのでこのまま強化していく方向が適切かと思います。一方で継続的な利用について、少し評価するような視点も今の段階から持っていてもいいのかなと感じました。まだ登録者数が人口から比べれば 10%未満ということですので今普及に力を入れる段階かと思いますが、並行して登録がされてもそれをしっかり活用いただかなくてはあまり情報発信としての効果を果たしていないということになりますので、データ

のとり方として開封率、既読・クリック率や申し込み機能は便利だと思いますが LINE を使った申し込みの件数はデータとして取りやすいと思います。それを使って、評価につなげることができると考えられる。ブロック率もデータとして取ることができるのではと思います。将来的には属性などもわかればよりターゲットを固定して情報発信もできる、チラシやポスターなど場面や情報の性質によって使い分けを行い、それぞれの媒体を使って合理的に情報発信に向かわれるという視点も取り入れて、現段階から取り組むことで将来的な評価・効果を高めることに繋がるのではないかと思います。

委員

マイナンバーカード保有率について話があったときに思いましたが、実施計画の中で、個別案件にもよりますが第五次の実施計画について評価の仕組み、記載の仕方について今後どのようにしたらよくなっていくのかという観点で見ていただく方がよいかと思います。第四次はアウトカムとアウトプットでそれぞれ整理されています。数値目標が書いている場合にアウトプットで見ているのか、アウトカムで指標を設定されているのか書いている自治体があります。書いてある自治体さんは多く、それはいいことであると考えています。アウトプットは行政として頑張った成果として設定されるが、アウトカムの方が市民ベースの結果に結びつくことになります。それぞれの取組の指標はアウトカム指標なのか、アウトプット指標なのか明記して設定した方がよいと思います。分析するときアウトカムとアウトプットでギャップが生じているのであればなぜそうなっているのか示せます。第五次実施計画の方でその観点で示せるといいと思います。

事務局

第5次において結果(アウトプット)と効果(アウトカム)それぞれの観点で分けて書くようにします。参考にさせていただいたうえ、市民の方にもわかるよう記入します。

委員長

まず、ふるさと納税の仕組みそのものについては、ある種射幸心を煽るような税制としては極めて問題の多い仕組みだと考えておりますが、日本全国で一斉に法律に基づいて競争していますので、致し方なくその競争に入らざるを得ないということになっています。一般的な指標・目標としてはどのようにして納税額を大きくしていくかの競争になっていますので、ご担当にしても頑張ってくださいしかないと思います。先ほどご説明にもありましたが、しっかり進めていただきたいと考えています。それに際しまして地元湖南市の経済・市民生活に利益が還元されるような観点を大事にさせていただければと思います。ただ単に売れるものを出せばいいという観点にならな

いように、そうした観点を徹底していただければと思います。

2 つ目の情報発信について、市民の皆様にとどのように情報を届けるか、どのように市政に関心を持っていただくかが重要であろうかと思います。LINE についても増やしていくという目標はありますが、どこまで増やしていくのかぜひ検討をしていただきたい。増やしていくための方法はこれまでのやり方では限界があるということもございますので、考えていきながらですが、メールやアプリが混在している状態ですのでメディア間の役割分担や、できるだけ市民のカバー率をあげていくことを考えていただければと思います。SNS を含めた各種媒体についてどういう形で上手に活用するか利用のしやすさが市民の方々がそれを便利だと考えて使ってくださる状況を積極的に作っていくようにしていかなければならないと思います。今後に向けて工夫をしていただければということでご意見をいただきました。

第四次計画ではアウトプット・アウトカムという観点でそれぞれ結果のご説明をいただいていた。行財政改革の成果については実際の活動結果とどのような効果を及ぼしているか明確に区別をしながら評価してきましたが、そうした観点で次の計画でも目標達成の度合いを考えながら整理をして進めていただければということでご意見をいただきました。

(2)補助金の効果検証および対応方針について

事務局

(説明)

委員長

各委員からの意見としてそれぞれ重要な役割を果たしているのだからさらに充実した活動をという点で評価をしていただいています。もう一方では、それぞれの団体が自主的自立的に活動いただきたいということも併せてご意見をいただいています。そちらについての方向付けをしっかりと進めていただきたいということになろうかと思います。

もう一つは湖南市として補助金を出す以上はその具体的な効果成果を出していくことが求められている点です。一般的な言い方ではそれぞれ社会公益的に活動目的を掲げており、その点については各委員から異論はございませんでした。ですが、もう一方では実際に何をどこまで達成できたのか、市の目的、そしてこれらの団体を補助することで市が目指している将来の姿、例えば市民の中にスポーツが定着をしている、あるいは市内の高齢者が元気に意欲をもって社会活動・職業活動を進めていかれている、その状態を実現できているかどうか、そういう観点でこの両団体への補助金が

どこまで効果があるか、そうした議論を本当は進めていかなければと思っております。そうした観点での今後の見直しが進められていければと思います。

今年度の検証につきましても具体的にどの補助金を対象とするのか本委員会で選んでいただき、ご審議いただき進めていきたいと考えております。前年度と同様の手順で進めていきたいと考えております。進め方についてご意見もあればと思います。

委員

補助金について抽象的にとどまらない効果を説明いただきたいというのはとても大事なことだと思いますし、補助金の金額の積算根拠も示していただきたいと思います。何についてどういう理由でどれだけの金額をつけているのかというのは市が補助金を出すことによって何を期待しているのかという風に効果をあげたいと考えているのかと直結すると思います。可能な範囲で構いませんので積算根拠について説明をお願いしたいです。

(3)その他

※第五次行政改革大綱 実施計画について紹介

副委員長

19 ページの職員提案に係る取組について現状・課題・取組手法の記載内容について誰もが提案しやすい職員提案制度を構築し、と書かれていますが数値目標を見ると2年目・3年目は5件と、4年目・5年目は10件とあり、上の文章から見ると気軽な提案のイメージを感じ取れますがいかがでしょうか。

事務局

提案内容について努力によってできるものや予算を伴うものなどもあります。一旦ご意見を受けて検討したいと考えます。

委員長

行政として予算化や施策化をしていくような提案であればそんなにたくさん出ないので、その部分について提案の区分けが必要です。実行に移す時間、費用あるいは組織をあげてやっていくようなところの違いがあります。少し検討いただいて気軽に提案していく、その中でよりよく洗練させ、政策提案や、新たな事業に繋がるような提案にしていくような考え方です。政策提案のそういうレベルに至るものはたくさんあるわけではないので、そうするとそのグラデーションの中で提案の数の活性化を考えていくことも大切

かなと思っております。職員提案の在り方も考えていただければと思います。職員提案制度があちらこちらでやって失敗しているのは、立派な提案をしてもらって形にし、予算化もして実行していこうということも含めて職員提案制度をやってこられたところも原因として多くございました。大体の立派な職員提案を求める方式は失敗しています。そんなものはなかなかごろごろ出てくるわけではないのでそういうレベルのものへの期待ももちろん持ちながらですが、職員の方々が自分たちの仕事についての様々な観点、問題点というのを意識してそれを日常的に指摘していただけるような改善提案のところから出発をしていただければいいかもしれません。先行事例からすると留意点もありますので検討いただければと思います。

委員

24 ページの上下水道業務包括委託は方針として決まっているものなのか、決まったうえで実施計画に載せているのか教えていただきたいです。浜松市や宮城県といったところで上下水の PPP をしていますが、失敗した事例もあるので、もう議会などで決まっているのか、ビジョンとして決まったものでなければ絶対しなければならないというものでもないと思います。

事務局

市として方針が現段階で決まっているものでもないですが、それに向けて検討していくという状況です。今後の運営状況を見たときに、こういう形のもを検討しなければならないとして出てきているものであります。担当課とどういう形で進めていくのか協議していきたいと考えています。

委員長

今年度からすでに上下水道の委託は始まっていますか。

事務局

例年通りの委託は始まっています。長期契約3年です。

委員長

3 年契約が切れたあとの議論が焦点となりますか。今年度来年度検討していくということですか。

事務局

その通りです。

委員長

従来の業務包括委託契約ですと最低限度の維持管理が契約条件となってしまう。ウォーターPPP とすることでインフラの維持管理も含めて考えていくという将来の展望であります。本当にウォーターPPPがうまくいくのか検討する必要がありますが、時間的余裕がないのでしっかり検討が必要だと思えます。

副委員長	13 ページの利用料見直しは5年に1回のサイクルが長めではないかと思いますが、短くてもよいのではと思いますが、5年後に一気に値上げになるのであればインパクトも大きいし、こまめに改定していくのもいいのではと思います。
委員長	料金改定は市民生活に非常に大きいインパクトもございます。改めて検討いただき、外部評価委員会でも協議できればと考えます。
副委員長	23 ページの大人の社会見学事業について参加者のイメージとして観光が目的なのか、事業者同士の交流・マッチング・産業振興が目的なのか教えていただきたいです。
事務局	知名度に対する取り組みで、菩提寺に京都の名前を使ったお菓子の工場があります。湖南省にこういった産業があることを市民の方に知らせるとともに市外の方へも PR、湖南省の関係人口を増やしていくのが狙いです。
副委員長	もう事業は動いていますか。
事務局	すでに実施しています。昨年度から試作的に実施して湖南省役所の見学、ふるさと納税の返礼品を作るという計画の中で、工業団地に見学に行くという取り組みもされていました。
副委員長	市外の方がメインになりますか。産業振興的な部分もありますか。
事務局	市内外を問わずとなります。産業振興とは異なる取組です。ダイワという釣り具メーカーのクーラーボックスを市内で作っている事業所もありますが、認知度が低く、この取組によって新たな発見、市の振興に繋げていきたいと考えます。
委員長	第五次の実施計画をお示しいただきました、これに基づきまして着実に取組を進めていただきたいと思いますし、同時に成果のあがる実施計画にしていきたいと思います。アウトプットの事業をやりましたというよりは施策の目標をよりよく達成することができた、そして市民のための活動になっていった、それが効果として表れてきた、というように、アウトカムの発

想での事業の進め方や事業成果の追求をお願いしたいですし、そうした観点でこれから半期ごとの見直しや改善をしていければと思います。事務局におかれましても着実に進めるよう当委員会の意見をお伝えいただければと思います。とりわけ本日強調されましたのは、今後に向けて湖南省がどのような行政を作っていくかそしてそれが市民の方々にとってどういう利益をもたらすことになるのか、それを行革の中で具体的な目標あるいは効果・成果として明らかにしつつそれも実現できるような行政の運営にしていくそのための改革というのを着実に進めていく、そうした観点でのご意見をいただきました。そのための実施計画でもありますし、そのための行革大綱でもあり、外部評価の役割でもありという観点で、本日はご意見いただけたかと思っております。湖南省の行政改革を着実に前に進めようということで、私ども尽力してまいりたいと思っておりますのでより一層各委員の皆様方ご尽力賜りたいところですし、事務局の皆様にもお力添えをいただきながら進めてまいりたいと考えております。

閉会 午前11時35分